

# 第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書兼事務事業評価調書

様式 1

No. 10030020

政策目標	4 【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	4 簡易水道事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成30年度に導入し、導入から5ヶ年の長期継続契約とするため、事業期間は、平成35年度までとなる。 全体事業費 16,219千円
基本施策	19 情報通信網の整備・充実	事業優先度	B	
単位施策	2 行政情報化の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	上下水道料金システム更新導入事業	見直し年度	10 建設水道課	
事業期間	平成30年度～平成34年度	関係課	#N/A	
事業主体	雄武町	ハード/ソフト事業区分	#N/A	
事業指標	新システム導入稼働	1	ハード事業	
事業目標	システム導入稼働	関係例規・法令名		
町民参加	無	関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 30 年度 事業内容	平成 31 年度 事業内容	平成 32 年度 事業内容	平成 33 年度 事業内容	平成 34 年度 事業内容
計 画 内 容	○上下水道料金システム更新導入一式 (LGWAN-ASP版)	・システム更新導入経費支出 (長期継続契約による使用料、 賃借料及び保守料支払)  【事業費支払案分】 簡易水道事業特別会計 70% 公共下水道事業特別会計 30%  ※初年度、7月頃導入予定の ため、9ヶ月分計上	・システム更新導入経費支出 (長期継続契約による使用料、 賃借料及び保守料支払)  【事業費支払案分】 簡易水道事業特別会計 70% 公共下水道事業特別会計 30%	・システム更新導入経費支出 (長期継続契約による使用料、 賃借料及び保守料支払)  【事業費支払案分】 簡易水道事業特別会計 70% 公共下水道事業特別会計 30%	・システム更新導入経費支出 (長期継続契約による使用料、 賃借料及び保守料支払)  【事業費支払案分】 簡易水道事業特別会計 70% 公共下水道事業特別会計 30%	・システム更新導入経費支出 (長期継続契約による使用料、 賃借料及び保守料支払)  【事業費支払案分】 簡易水道事業特別会計 70% 公共下水道事業特別会計 30%
	事業費(千円)	15,409	2,433	3,244	3,244	3,244
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	15,409	2,433	3,244	3,244	3,244	
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	2,365	2,365	0	0	0	
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) 上下水道料金システム導入に よる稼働・運用 (5年間リース契約、保守契約)  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等)  ※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	システム導入稼働	システム導入稼働	システム導入稼働	システム導入稼働
	後期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	97%	0%	0%	0%
		全体達成率	15%	15%	15%	15%
		備考欄				

事業名	上下水道料金システム更新導入事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	水道業務係長	磯田 麻美

様式1  
平成30年度実施  
平成31年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民・水道検針業務	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)									
【抱える課題やニーズは】	・料金請求、収納管理の適正化 ・水道検針業務の効率化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	検針漏れ防止や迅速処理が可能となり、委託業者とのデータ授受を速やかに行うことができ、検針データのシステムへの伝送により迅速かつ適正な料金管理が行える。また、LGWAN-ASP版の導入により非常時のデータ保全や保守対応の充実も図られる。	① 導入機器数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成30年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1式</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1式</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成30年度	目標値	1式	実績値	1式	達成度	100.0%
目標年度	平成30年度										
目標値	1式										
実績値	1式										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	効率的かつ適正な行政運営	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成30年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成30年度	目標値	〇〇	実績値	〇〇	達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成30年度										
目標値	〇〇										
実績値	〇〇										
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	上下水道料金システム導入による適正な稼働、運用	新システム導入(LGWAN-ASP版)により、事務の適正化、効率化を図った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町が水道事業者であることから、適正な料金管理はもとより、効率的な運営を行うため、必要であった。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	前回システム導入時から検針端末を導入したことによる効率化は維持され、さらにデータ保全、保守対応の充実など効果が得られている。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	従来システム導入業者との随意契約とし、新規にシステム構築するよりも費用が安価であり、リース契約・長期継続契約とすることにより単年度ごとの事業費を抑制している。また、新システム導入により、保守対応が迅速になり、時間短縮につながっている。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	判断の理由	専用水道や営農用水の配水地域を除き、ほとんどの町民が利用している簡易水道に係るシステムであり、概ね公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおりシステム導入し、稼働しており、期待した効果が得られていることから、目標達成としている。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持	適正なデータ管理を行うためには、使用年数を考慮し、必要時に最新版へのバージョンアップが必要であり、運用に合わせた調整が必要である。
---------	---

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止